

ホームステイ・ マニュアル

ホームステイ・ホームビジット受け入れのステップ



顔の見える
世界地図を
描こう！



はじめに

私たちは「日本」という島国に暮らしていますが、インターネットをはじめとする情報メディアの発達で、瞬時に、どんなにはなれた国のできごととも、身近に受け取れるようになりました。たとえば東日本大震災のあたりには、世界のさまざまな国から、速やかにあたたかい支援がよせられました。このように私たちは、今や国内だけではなく、多くの国や地域が影響しあう「共存の世界」に生きています。

「世界」が共存し、ひいては世界全体がしあわせになるためには、積極的に世界を知り、世界中の人々と協力していくことが大切だと思われます。

PoEは、国や文化の違いを認めあい、「人」として世界の人々となかよくなる活動に取り組んでいます。老若男女を問わず、心を通わせた海外の友の「顔の見える世界地図を描く」ことができるようになる活動として「ホームステイ・ホームビジット」を積極的に推進しています。

しかし、いざ「ホームステイ・ホームビジット」となると、不安や戸惑いがあったり、二の足を踏んだり、必要以上に頑張ってしまう疲れてしまうことがあるようです。そうした不安や戸惑いを少しでもなくし、まずは気軽に楽しんでいただけるよう、この「ホームステイ マニュアル」をまとめました。

「家族ぐるみで国際交流をやってみよう」と思っていただければ幸いです。

2013年7月

特定非営利活動法人PoE International Exchange

ホームステイとは

* ホームステイとホームビジット

1泊以上の宿泊をとまなうものを「ホームステイ」、宿泊をとまなわない家庭滞在を「ホームビジット」というように使い分けています。

* ホームステイは「家族の一員」として

ホームステイは、人と人との交流の場、ふれあいの場です。宿泊代や食事代の節約のために行われるものではありません。外国の方を家族の一員として迎え、一緒に生活することにより、同じ人間としてお互いを理解でき、心を通わせることができるでしょう。

* ホームステイの期間

ホームステイは、1泊のこともあれば、2泊、3泊…、1週間、あるいは、1ヶ月、数ヶ月、1年以上といった長期のものもあります。短期のホームステイと長期滞在するホームステイとは、受け入れの心構えや注意事項も異なってきます。

※このホームステイマニュアルでは短期滞在について説明しています。

* ホームステイの費用

多くの場合は無償で行われますが、移動の交通費や、受け入れの際の実費の一部が支払われるものもあります。PoEが主催する短期のホームステイプログラムは、無償で行われています。

* まずやってみること

「我が家でもホームステイの受け入れができるかしら？」と、しりごみをされている方が多いようです。しかし、ホームステイを経験された方は、「〇〇さんと出会えて、本当に良かった！」と感激されている方もたくさんいらっしゃいます。「家族でよく話し合い、家族全員の気持ちが一致したら まずやってみること。」これが一番肝心だと言えるでしょう。

受け入れの心構え

* 事前の準備

ホームステイは、日本の普段の生活を外国の方たちに経験してもらい、知ってもらおうとするものです。温かく迎え入れる気持ちは大切ですが、お客様扱いすることはありません。家族の一員として迎えてあげるのが、最高のおもてなしです。特別な何かを準備しなければならないということもありますが、事前に相手の方の国のこと、自分の国のことを勉強しておく、話題がどんどん広がり、より楽しいホームステイができるでしょう。招く側と招かれる側双方が、楽しく有意義な体験ができるように、事前に家族調査表(アプリケーション)の交換を行います。

* 住宅環境

ホームステイに積極的になれない理由のひとつに住宅環境があげられると思います。しかし私たちが心配するほど、外国の方は気にしていません。

- ▶大きな家でなくても大丈夫です。
- ▶マンションやアパートでも充分です。
- ▶ベッドがなくても構いません。
- ▶日本の普通の家庭生活を経験してもらえるのがよいのです。

* 家族

「ホームステイは子どものいる家庭の方がいい。」という話を聞きます。確かに、子どもは外国の方とすぐ仲良くなりますし、外国の方も子どもがいると家庭に馴染みやすいようです。逆に、ご高齢の方と外国の方がとても仲良くなったなど、子どもがいなくてもホームステイが楽しめた例はいくつもあります。大切なのは、家族構成ではありません。家族全員が、外国の方を招いて楽しく過ごそう、日本のことを知ってもらおう、相手の方のことを知りたい、そういう気持ちを持っているかどうかです。家族の中にホームステイに賛成でない方がいると、自然に相手の方にわかり、さびしい思いをさせてしまいます。外国の方を受け入れるということ、歓迎するということについて、家族

でよく話し合い、家族全員の気持ちが一貫していること、これが楽しいホームステイの大切な条件でしょう。

* 言葉の問題

ホームステイをするにあたって最大の不安は、言葉の問題でしょう。もちろん、相手の国の言葉が話せるにこしたことはありませんが、言葉が話せないからホームステイはできないということは決してありません。言葉や生活習慣等に違いはあっても、「うれしい」「悲しい」「ありがとう」「ごめんなさい」という人間としての感情は同じです。相手に自分の気持ちを伝えよう、相手の言っていることに耳を傾けよう、そういう気持ちさえ持っていれば、大きな誤解が生じることはないでしょう。

身振り手振りで話したり、辞書を片手にメモを書いたり…、お互いに相手を一生懸命理解しようとすることで、かえって仲良くなれるのです。多少のくい違いも、異文化に触れる楽しい経験のひとつです。ホームステイを通して、今まで全然知らなかった言葉や文化に興味を持ってたとしたら、それだけでも「世界」を知り得たと言えるでしょう。

* 意思表示は明確に

たとえ、相手の方の言葉が話せなくても、手振り身振りを交えて「Yes、No」の意思表示は、はっきりしてあげましょう。あいまいにしているとかえって大きな誤解を招き、感情的に気まずくなってしまうことがあります。ダメなことは、いろいろな方法で理由を説明して最初にはっきりダメと伝えましょう。

受け入れからお別れまで

* 出迎え

いよいよ初対面の日。何よりもまず、緊張している外国の方がくつろげる雰囲気を出迎えてあげて下さい。堅苦しく考えることはありません。

「よくいらっしゃいました。楽しく過ごしましょう。」そんな気持ちを表わしてあげれば、相手の方は安心するでしょう。片言でも相手の方の国の言葉で挨拶できれば緊張もほぐれ、雰囲気も和らぐでしょう。たとえ日本語でも、歓迎の気持ちを態度で示せば通じるものです。

* 家族の紹介

最初に、家族全員の名前や呼び方などを紹介してあげましょう。また、相手の方の名前を覚え、家族全員でその名前を呼んであげましょう。そこからどんどん楽しい会話が広がっていくことでしょう。

* 家の中の案内

宿泊する部屋、トイレと洗面所、浴室、食事をする部屋、居間等、使ってもらう部屋を案内しましょう。お風呂の使い方、部屋の使い方を簡単に説明してあげましょう。必要であれば、ふとんの敷き方やあげかたなども教えてあげるとよいでしょう。

* 食事

料理 普段のままで充分です。無理をして特別な料理を作る必要はありませんが、以下のことについては注意してあげてください。事前に家族調査表に書かれていることを、もう一度本人に直接確認したほうがよいでしょう。

- ▶ 宗教上、あるいは嗜好上食べられないものはないか。(特に、さしみなどなま物には注意)
- ▶ 食べ物に関するアレルギーはないか。
- ▶ お酒は飲めるか。

準備・あとかたづけ お客様扱いすることはありません。気軽に声をかけて手伝ってもらいましょう。男性の方でも気にすることはありません。例えば、食器を並べるのを子どもと一緒に手伝ってもらったり、一緒に料理を作るのもいいでしょう。参加することで、家族の一員として認められるように感じ、喜ばれることでしょう。

* たばこ

最近では禁煙が世界の常識になってきています。

家族に吸われる方がいる場合、事前に言うておくと同時に、吸う前にひと断った方がいいでしょう。

* トイレ

いくつかある場合には、使うところだけ案内しておけばいいでしょう。

* 風呂

入浴方法

入浴方法は、はっきり説明してあげましょう。

日本のお風呂は、単に汚れを落とすだけでなく、温まってくつろぎ、疲れをとるために入るということ。

家族が順番に同じお湯に入るの、体は浴槽の外で洗うこと。

出る時にお湯を抜かなくていいことなどを話しておきましょう。

入浴時間

外国の方の中には、朝入浴する習慣の方もいますが、それぞれの家庭のルールで相談しましょう。

* 就寝

「外国人にはベッド」と思いがちですが、ベッドは無くても大丈夫です。

ふとんと畳は日本の生活の象徴でもあり、かえて日本の「ふとん」というものに一度寝てみたいと思っている外国の方も多いようです。

* おでかけ

スケジュール

ついつい欲張った計画を立ててしまいがちですが、あまり綿密な計画はたてない方がよいでしょう。

相手の方の希望をできるだけ取り入れ、状況によっていろいろ変えられる大まかなもので充分です。

観光地に連れて行くばかりでなく、地元の商店街やスーパーで買い物をしたり、希望されたら一緒に銭湯に行ったりするのも、貴重な体験になるでしょう。

費用

お金に関することは言い出しにくく、ついうやむやになりがちですが、はっきりルールを決めておいたほうがお互いに気まずい思いをせずにすむでしょう。

個人的な買い物の費用まで負担することはありません。

個人的にかかるお金は自分で負担するように、事前のオリエンテーションで伝えてあります。

食事などに連れていってあげるときは、「これは招待ですよ。」とひと言伝えてあげてください。

* 病気やけがの時

もし、病気になったり、けがをした場合は、必ず PoE に連絡し、指示を受けてください。

診察等にかかった費用は、基本的に本人が払いますが、立て替えたりする場合は、領収書を必ず受け取っておいてください。

* ホームステイ後のおつきあい

ホームステイを通して、外国の方と友だちになり楽しいひとときを過ごしても、お別れしてそれっきりというのでは残念です。

お互いに住所やメールアドレスを交換して、手紙を出しあったり、クリスマスカードを送ったりなど…どんどん交流を広げていってください。

ただ、外国の方の中には、手紙を書かない習慣の方もいます。

返事がこなくても、もてなし方が不満だったとか、家族のことを嫌ってということでは決してありません。

日本の家族から手紙をもらって、きっと喜んでいることでしょう。

「違い」を楽しむ

せっかく楽しみにしていたホームステイなのに、「もうイヤだ」「二度とやりたくない」といった結果に終わっては本当に残念です。

ホームステイ体験者がよくあげる事例に次のようなものがあります。

- ▶ 頑張って作った料理を、ひとくちも食べてもらえなかった。
- ▶ お風呂のお湯が全部抜かれていた。
- ▶ 夏場、部屋のエアコンの設定温度が10度台になっていた。
- ▶ 気を遣いすぎて疲れた。
- ▶ ゲストにかかりっきりで、子どもたちがやきもちを焼いてしまった。
- ▶ 言っていることが全然理解できなかった。

思い描いていたホームステイにならなかった…ということもあるかもしれません。

それも、文化や習慣の違いに拠るものがほとんどです。

そんな「違い」を認め、新しい発見として楽しんでしまい、「うまくいかなかったな」と思っても、「いい経験をした」くらいの大らかな気持ちで受けとめましょう。

人の顔が見える世界地図に

たった一泊のホームステイでも、より理解しあおうとすることで心が通い、お互いが近くて大切な存在となることでしょう。

受け入れた外国の方が、あなたの家や家族を「日本の実家」のように思ってくれたら嬉しいですね。

受け入れをした外国の方を通して、行ったことのない国が、それまでになく身近に感じられることでしょう。

あなたが世界地図を開くとき、ホームステイで出会った人たちの顔が見えてくる…。

「いつか、受け入れた〇〇さんの国に行ってみたい。」

そう思えたとき、あなたやあなたの家族には、世界への扉が大きく開かれています。

家庭でできる国際交流を、ご家族で楽しんでみてください。

参考文献：(財)愛知県国際交流協会編「ホームステイマニュアル」

無断転載禁止

発行——特定非営利活動法人PoE International Exchange

発行日——2013年7月11日

e-mail——info@npo-poe.com
